

## 第 12 回 HALS グループミーティング開催のご挨拶

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

2023 年 10 月 28 日（土）に「第 12 回 HALS グループミーティング」を開催いたします。今回のテーマは、『だから、HALS』とさせていただきます。

私は、開腹手術を基本として修練を積み、内視鏡手術の技術が導入された時には教室の中堅として働いておりました。腹腔鏡手術チームが結成され、手術を行うものの予想しない様々なトラブルを経験いたしました。そのような時代に外科医の触覚・手を使う手技の合理性を感じ、自己流で HALS による大腸手術を導入、その手技の有用性を感じてきました。ロボット手術が保険収載された現代でも HALS の有用性は何ら変わることはありません。

今までの研究会で HALS の長所、短所について多くの議論がなされ、HALS の有用性は実感できるものの、多くの領域での腹腔鏡手術の普及により、その存在意義が明確で無い印象を受けます。一方で、肥満患者の増加に加えて外科医の減少、働き方改革などを考慮すると現在のマルチポート内視鏡手術でさえも、必ずしも的確とは言えない時代になってきていると考えています。

今回は、HALS の存在意義を明確にするために、『だから HALS』といった症例やそのメリットを発揮した症例を提示して頂きたいと思います。また特別講演として、板橋中央総合病院 臓器移植センターの中島一朗先生に、「用手補助腹腔鏡下移植用腎採取術 2,000 症例の検討」をご講演いただく予定です。

Covid19 感染により様々なコミュニケーションツールが開発されていますが、細かなニュアンスを伝え、参加者のコンセンサスを形成するにはフェイス to フェイスで討論を行うことが極めて重要です。ですから、本研究会は、あくまで現地開催として予定しています。是非とも多くの皆様方にご参加いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

勤白

2023 年 7 月吉日

第 12 回 HALS グループミーティング当番世話人  
東京女子医科大学病院 病院長 炎症性腸疾患外科学分野 教授・基幹分野長  
板橋 道朗